

北海道爬虫両棲類研究会第5回大会

北海道爬虫両棲類研究会では、2017年1月28日（土）に一般聴講も可能な基調講演と、研究発表会を行います。北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話、現状などをお伝えする会となっております。札幌市円山動物園との共催ということもあり、様々な方にお越し頂ければ幸いです。

午前の講演では酪農学園大学農食環境学群・環境共生学類・野生動物保護管理学研究室の更科美帆博士研究員に北海道の外来カエル対策のお話と、北海道爬虫両棲類研究会会長・徳田龍弘が砂浜で見つけたヒガシニホントカゲについてお話していきます。

日時

2017年1月28日（土曜日）

場所

札幌市円山動物園 動物園プラザ （札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）

1月28日（土） 開場:9:30 開演:10:00～15:10

10:00～10:05 開会のあいさつ

10:05～10:35 酪農学園大学・野生動物保護管理学研究室・更科美帆氏

「何から優先すべきか？ー北海道の外来カエル対策ー」

10:40～11:10 北海道爬虫両棲類研究会会長・徳田龍弘 「砂浜のヒガシニホントカゲ」

11:15～11:50 研究発表2題（別紙：発表番号①②参照）

11:55～12:05 ハープソン 2016 表彰

12:05～13:00 休憩

（12:10～12:30 北海道爬虫両棲類研究会総会：会員のみ）

13:00～15:00 研究発表5題（別紙：発表番号③～⑦参照）

15:00～15:10 閉会のあいさつ

（15:10～16:00 は虫類・両生類館において観覧：会員と発表者のみ）

申込み方法

予約はありませんので、ご自由にお越しください。

定員 50名程度

料金

参加無料ですが、動物園入園料を各自ご負担お願い致します。

（駐車場：動物園の駐車場 700円／日）

懇親会（17:00～ 予算・飲み放題 3,500円程度を予定）

四季の味コロボックル 円山店（〒064-0820 北海道札幌市中央区大通西 23-1-1 円山公園 MS1F）

011-611-4646 <http://r.gnavi.co.jp/h068400/>

【講師紹介】

更科美帆氏（さらしな みほ）酪農学園大学農食環境学群・環境共生学類・野生動物保護管理学研究室の博士研究員。主に北海道の外来カエルについての生態等を研究しており、北海道生物多様性保全条例の施行後の道主催シンポジウムなどでも研究を通じた発表や提案を行う。

徳田龍弘氏（とくだ たつひろ）1975年札幌市生まれ。北海道爬虫両棲類研究会・会長、フォトグラファー。ヘビを中心に爬虫類、両生類、野生動物の写真を撮影する。野外での動物の行動を調べるのがライフワーク。北海道エコ・動物自然専門学校にて両生類爬虫類学を担当。日本爬虫両棲類学会会員、獣医師。2011年に北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑を発行（2015年に改訂）。2013年に共著で *Old World Ratsnakes* を出版。北海道レッドリスト、札幌市レッドリスト作成に携わる。

研究発表題（当日に増減及び順番の入れ替えの可能性あり）発表 12分、質疑応答 3分

- ① 函館のヒキガエルはどこから来たのか?その謎を推理する!!
発表者：齊藤和範（北教大旭川）
- ② 国内外来種アズマヒキガエル *Bufo japonicus formosus* の捕獲! ?—自作罠による捕獲の有効性の検討—
発表者：鈴木あいり（酪農学園大・野生動物保護管理学研究室）
- ③ アズマヒキガエル繁殖防止障壁としての波板の有効性
発表者：本間浩祐（北海道拓殖短大）
- ④ 深川市におけるアズマヒキガエル幼体の成長経過と幼体年数
発表者：八谷和彦（北海道拓殖短大）
- ⑤ アズマヒキガエル卵および卵ゼリーに含まれる毒成分が捕食者に及ぼす影響
発表者：山岸右京（酪農学園大・発生生物学研究室）
- ⑥ 札幌の住宅隣接森林にある池に集まる繁殖個体から探るエゾサンショウウオの生態的特徴
発表者：藤村泰平（酪農学園大・発生生物学研究室）
- ⑦ 希少淡水二枚貝カワシンジュガイ属はエゾアカガエルの越冬地を創出するか?
発表者：三浦一輝（北大院環科院）

問い合わせ先

〒005-0021 北海道札幌市南区真駒内本町 7-4-27 北海道爬虫両生類研究会事務局 徳田宛

syomu@koke-koke.com

※1 懇親会参加は人数把握のため、参加希望の方は出来るだけ参加意思を事前にお知らせください

※2 会員で欠席される方は、総会で決議がありますので、出来るだけ委任状あるいは委任意志を郵便やメール等でお知らせください。